

第3次あきた子ども・若者プラン(仮称)の骨子案

プラン策定の趣旨

- 子ども・若者育成支援推進法第9条に基づく子ども・若者育成支援についての県計画として位置づけ
- 国の子ども・若者育成支援推進大綱を勘案
- 第2次プランの成果を生かしつつ、社会情勢の変化も踏まえて策定

プランの性格と推進期間

- 子ども・若者の健全な育成等に関する県の基本的な指針
- 対象とする「子ども・若者」は0歳～30歳代
- 推進期間は令和3年度から6年度までの4年間
- **令和7年度以降は、「すこやかあきた夢っ子プラン」と統合予定**

プランの推進体制

- 秋田県青少年健全育成審議会に報告し、意見等を聞きながら推進
- 市町村や関係機関、NPOなどの民間団体等と連携・協働して施策を実施
- 施策の進捗状況を毎年度、検証し公表

第2次プランの主な成果と課題

- 認定こども園等の幼保一体的運営施設の整備や放課後児童クラブの設置など、子どもの保育に関する環境づくりは順調に進んでいる。
- ネットトラブル被害に遭った児童・生徒の割合は目標どおり低く抑えられている一方で、千人当たりの不登校者数やいじめ認知件数は増加傾向にある。
- インターンシップ参加率の増加により、高校生の職業観形成や県内企業への理解が促進されているものの、高卒就職決定者の県内就職率は、ほぼ横ばいとなっている。
- 設定した33の指標のうち、概ね達成したもの（8割以上）が24ある一方、達成率が8割を下回った指標が4つある。

基本的な考え方

- 【目指す社会】 子ども・若者を尊重し、すべての世代が支え合いながら共に生きる社会
- 【視点】 ① 社会を構成する担い手として子ども・若者を位置づける
② 子ども・若者の置かれている状態に応じて支援する
③ 多様な主体による取組とネットワーク化を促進する
- 【基本目標】 ① 健やかに成長できる環境づくり
② 困難を有する子ども・若者の支援
③ 秋田の未来を切り拓く子ども・若者の支援

策定に向けた考え方

- いじめの認知件数や不登校者数が増加傾向にあるため、未然防止や組織的な即時対応について強化していく。
- これまで、ネットトラブル被害数は低く抑えられているものの、スマートフォン等の普及が進んでいることから、その健全な利用についてさらなる普及啓発を進める。
- 障害者理解促進・差別解消推進条例の制定を受け、多様性への理解を促進するほか、秋田県社会的養育推進計画の策定を踏まえ、社会的養護体制の充実を図る。
- 新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮する。

主 な 内 容

乳幼児期（生まれる前～5歳）

- 安心して出産できる環境の整備
 - ・周産期医療体制の整備や、子どもと母親の心身の健康確保のための健康診査の実施
- 子育て支援の充実
 - ・仕事と子育ての両立を支援するための待機児童の解消や、医療費・保育料の助成による経済的支援の実施
- 要保護児童への支援
 - ・障害のある子どもの早期発見・早期療育、家庭での養育が困難な子どもの社会的養育体制の充実

学童期（6～12歳）

- 心身の健康づくりの推進
 - ・運動が好きな子ども、得意な子どもの育成や食育の推進
 - ・道徳教育等を通じた規範意識や他人を思いやる心の醸成
- 家庭や地域の教育力の向上
 - ・家庭への教育相談体制の充実や、父親の育児参画促進、家庭・地域におけるインターネット健全利用の推進
- 安全・安心な環境の確保
 - ・子どもの安全を確保するための普及啓発活動、トラブルを未然に防ぐインターネットセーフティの推進

青年期（おおむね18歳～）

- 多様な学びの場の確保
 - ・豊かな人生を送るための各種の学習機会を提供、芸術・文化に親しむ機会の充実
- 地域の活力を担う若者への支援
 - ・若者の斬新な発想による取組や地域への貢献活動、文化活動などを支援
- 社会的自立に困難を有する若者への支援
 - ・ニートやひきこもり状態にある若者の自立に向けた支援、障害のある若者の学びの機会の充実

思春期（13～おおむね18歳）

- ふるさとへの愛着の醸成と国際的視野の育成
 - ・ふるさと回帰や定着につながるよう、秋田への愛着心を醸成
 - ・国際交流を通じた多様な価値観への理解の促進
- 社会への旅立ちを支援
 - ・生徒一人一人の職業観を育成するためのキャリア教育の充実、県内定着に向けた県内企業への理解の促進
- 若者を非行・事件から守る取組
 - ・トラブルを未然に防ぐインターネットセーフティの推進

義務教育期（6～15歳）

- 豊かな人間性を育む学校教育の推進
 - ・少人数学習の推進等による基礎学力の向上、ふるさと教育や多様な体験活動の推進、障害への理解の促進
- 学校・家庭・地域社会の連携の推進
 - ・地域ぐるみでの学校安全体制の整備・推進、家庭や地域との連携による規範意識の醸成
- いじめ防止と困難を有する子どもへの支援
 - ・いじめを許さない学校づくり、不登校の未然防止と学校全体での組織的な対応
 - ・子どもの発するSOSを把握する教育相談の充実

策定スケジュール

- | | |
|-----|--------------------------------|
| 9月 | 県議会（骨子案の説明） |
| 11月 | 第2回青少年健全育成審議会 子ども・若者プラン策定部会 |
| 12月 | パブリックコメントの実施 |
| 1月 | 第2回青少年健全育成審議会 |
| 2月 | 県議会（最終案の説明） |
| 3月 | 策定・周知 |

※下線部は、第2次プランからの変更点。